

社会福祉学科			介護福祉 専攻						
科目名: 生活支援技術 I -②			担当教員 氏名: 岩上厚子、岡野宏宣、関根双葉						
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考				
1	1年次 後期	専門科目	演習	必修	介護福祉士国家試験受験資格(必修) 社会福祉主事任用資格				
実務経験を用いてどのよう な授業を行っているか: レクリエーション・コーディネーターや臨床美術士の資格を持って実務経験を有した教員が、その経験を生かして、生活支援を必要とする人を対象に音楽やレクリエーション、造形表現活動に関する授業を行う									
授業科目の学習教育目標の概要:			キーワード レクリエーション活動 個別学習とグループ学習 レクリエーション活動の意義や内容の理解 ホスピタリティトレーニング 音楽療法						
各課題にとりくむなかで、自己・他者の発見やつづきを理解し、将来的にかかわる利用者の「可能性」「ニーズ」「生活のゆとり」をつくり出す、よりよい支援の在り方を学ぶ。 単発的なレクリエーション財の習得のみを目的とするのではなく、企画、立案の方法、財の選択、アレンジの方法なども含めて体験的に学習する。・音楽の療法的意義を学ぶ。									
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福祉マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 5. 7. 8.				
A 知識・理解力	福祉におけるレクリエーション活動の意義や内容について理解することが出来る。								
B 専門的技術	レクリエーション活動に関する基礎的・基本的な技術を習得する。 介護の目的に合わせたレクリエーション提供能力を習得する。								
C 論理的思考力	対象者に合わせた工夫やアレンジの能力を習得する。								
D 問題解決力	自分が経験した活動に関する意義や内容、発見や表現意図などに関してまとめ、利用者とかかわる場に向けて、学びを整理して記述することができる。								
H コミュニケーション力	活動に取り組むなかで、自己・他者を理解し、コミュニケーションを育むことができる。 コミュニケーションを促進するためのレクリエーションの活用方法を習得する。								
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	%	発表:	%	実技試験:	%	その他:	%
特記事項: 【岡野】『レポート(50%)』は、各課題の学びを整理・記録したフォリオである。『発表(50%)』は、課題作品・提出、授業態度である。 【岩上】毎回授業終了時にレポートの提出を求めます。 【関根】『レポート』(60%)および『発表』(30%)においては演習の集中度、意欲、「その他」(10%)においては、授業態度などで評価する。									
配布資料の整理と 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 【岡野】各課題の後に学びを整理・記録したフォリオを作成して提出。その後、フォリオの記入状況、課題作品、授業態度と合わせて評価(点数化)していきます。【岩上】レポートと取り組み度により評価します。 【関根】レポート(60%) 演習(30%)においては演習の集中度、意欲 その他10%)は、配布資料の整理と授業態度で評価します。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 【関根】レポートは、授業終了後メッセージを添え返却する。									
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)						
			学習内容	学習に必要な時間(分)					
①【関根】音楽の効果を感じ理解	演習を通して音楽の効果を感じ理解		【予習】実習での音楽体験、自らの音楽体験を振り返り整理	【予習】60分					
②【関根】障害と音楽	療法的意義の理解		【復習】授業で体験した音楽の習得	【復習】60分					
③【関根】音楽リハビリ	音楽を使う目的・選曲・方法について		【復習】授業で体験した音楽の習得	【復習】60分					
④【関根】音楽リハビリ	音楽を活用したりリハビリ手法		【予習】音楽の活用方法を考える 【復習】音楽の活用方法を工夫する	【予習】30分 【復習】30分					
⑤【岩上】レクリエーションの意義			【予習】ワークシートを配布・レクリエーションのイメージについてまとめておく【復習】福祉レクリエーションについての考え方のレポートを提出	【予習】60分 【復習】120分					
⑥【岩上】ホスピタリティの示し方			【復習】援助者の役割についてまとめる(どのような援助者を目標とするかまとめる)	【復習】90分					
⑦【岩上】アイスブレイキングの基本技術			【予習】レジメを熟読しておく	【予習】90分					
⑧【岩上】アイスブレイキングのプログラミング			【予習】レジメを熟読しておく	【予習】90分					
⑨【岩上】介護予防とレクリエーション			【予習】高齢者の馴染みの歌を調べる 【復習】健康体操の復習	【予習】120分 【復習】120分					
⑩【岩上】ふりかえりとまとめ			【予習】各県のレクリエーション協会のHPにアクセスし、どのような事業を展開しているか調べておく【復習】現代社会の課題を解決するようなレクリエーション行事について考えを深める	【予習】120分 【復習】120分					
⑪【岡野】造形活動1. 『ドリップングアート』			【復習】偶然性を利用した造形活動について振り返りシートを記入	【復習】60分					
⑫【岡野】造形活動2. 『生活素材で造形表現』			【復習】生活素材の活用について振り返りシートを記入	【復習】60分					
⑬【岡野】造形活動3. 『紙テープの稜線接着で作る壁面制作①』			【復習】制作イメージをつくる	【復習】60分					
⑭【岡野】造形活動4. 『紙テープの稜線接着で作る壁面制作②』			【復習】共同制作に関する振り返りシートを記入	【復習】60分					
⑮【岡野】まとめ(福祉分野における造形活動の援助・留意点)			【復習】日常空間におけるアートの在り方について考えを深め	【復習】60分					
使用テキスト: 【岡野】【関根】必要に応じて資料を提供します。			その他参考文献など: 【岡野】【岩上】随時紹介します。 【関根】・「介護予防+認知症予防プログラム・歌遊び・歌体操」(あおぞら音楽社)能村昭子 978-4-904437-15-5						
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 【岡野】毎回課題制作を行うので、欠かさず出席してください。やむを得ない理由で課題の進行が遅れた場合は、自ら時間をつくり、遅れを取り戻してください。 【岩上】支援力を身につけるためにもボランティア活動には積極的に参加しましょう。 【関根】音楽演習を楽しみ積極的に取り組むことを望みます。									